

## 秋学期のチェック！

- ・春学期にやったことをだいたいおぼえている
- ・各課の見出しになっている会話例を聞き取り、発音し、書き取ることができる (podcast を活用！)

- ・不定冠詞、部分冠詞、定冠詞の使い分けができる
  - af) parler le français = parler français = フランス語を話す  
parler en français = フランス語で話す
- ・不定冠詞と部分冠詞はもともと同一カテゴリー (un [une], du, de la, des)
  - ① + de + ② の形だと  
② に冠詞が付かない  
ex) beaucoup de ~  
un peu de ~
- ・直接目的語に付されるばあい、否定文では de になる点でもこれらは同じ
  - 必ず使われる定冠詞 → 総称として使われているから、可算のとき 総称だったら des  
Sûre manger de ~ 不定冠詞、部分冠詞 特定の何かなら de la
- ・動詞のさまざまな活用をマスターしている (発音し、綴ることができる)

以下の動詞の直説法 (現在、近接未来、近接過去、複合過去、半過去、大過去、単純未来、前未来)

その他の法 (条件法、接続法、不定法)

il fait ③: ~は③だ

当然ながら、過去分詞

- ・être, avoir
- ・第1群 (-er 型) 規則動詞 (aimer, habiter...), およびその変形 (manger, lever...)
- ・第2群 (-ir 型) 規則動詞 (réussir, obéir...)
- ・その他の基本的な動詞 (aller, venir, faire, sortir, partir, prendre, mettre, voir, dire, écrire, lire, boire...)
- ・モーダル (vouloir, pouvoir, savoir, devoir)
- ・代名動詞 (se coucher, se téléphoner...)
- ・複合過去と半過去のニュアンスの違いがわかる
- ・中性代名詞 y と en を使える
  - il ne s'y promène pas 再帰代名詞の後
  - il ne m'y a vue
  - il n'y en a pas ~
  - 原則として、y は à... を、en は de... を受ける
  - ただし、y は人を受けられない (人を受けるのは間接目的の人称代名詞)
  - さらに、y は「……で、……に」(場所) を受ける
  - さらに、en は不定量 (不定冠詞、部分冠詞が付くと想定されるもの) を受ける。数量を後置してもよい

- ・人称代名詞の主格、強勢形、直接目的、間接目的をマスターしている

- ・所有形容詞もマスターしている

me te nous vous le la nous les lui leur の順 (期法には出ない)

- ・文中でのこれらの代名詞の順序、またこれらと ne... pas の順序をわかっている

- ・直接目的、間接目的、中性代名詞などは、複合時制のときだけ助動詞 (avoir, être) の前
- ・それ以外は本動詞の前
- ・モーダルの前には付かない

- ・関係代名詞 (qui, que, dont, lequel, quoi)、関係副詞 (où) をマスターしている

先行詞は物、前置詞を使う (大抵除く) 基本的に前置詞句の時のみ  
ex) avec, à, pour ...  
⇒ こからでてきたら lequel

C'est ^ que ~~mais~~ qui, ~

- ・強調構文を作ることができる

- ・主語を強調するばあいには qui、それ以外を強調するばあいには que

- ・過去分詞の性数に気をつけるべきときを理解している

- ・être を用いる自動詞の複合時制で、主語と一致

Elle est allée au cinéma

Nous avons vu Marie ⇒ Nous l'avons vue

- ・他動詞の複合時制で、直接目的語が人称代名詞の形で先行しているばあい、それと一致

- ・他動詞の複合時制で、直接目的語が関係代名詞 que (および先行詞) の形で先行しているばあい、それと一致

- ・代名動詞の複合時制で、再帰代名詞が直接目的に相当するばあい、それと一致

- ・受動態で、主語 (あるいはその過去分詞が直接修飾する名詞) と一致

J'ai mangé une orange

⇒ une orange qui j'ai mangée

ils se couchent

ils se sont couchés

⇒ 直接目的

elles se téléphonent

⇒ elles se sont téléphonées

- ・比較級、最上級を把握している

- ・比較級には優等・同等・劣等があること、最上級には優等・劣等があること

劣等

- ・比較級の比較対象は que で指示、最上級の母集団は de (または dans) で指示

- ・最上級の定冠詞は名詞の定冠詞と重複したばあい削除する

- ・特殊な形容詞・副詞 (bon, bien, beaucoup...)

- ・いずれも、形容詞は性数変化。副詞は変化しない (副詞の最上級の定冠詞はつねに le)

- ・程度の副詞をマスターしている (とても、少し、あまり……)

bien

trop

- ・頻度の表現をマスターしている (いつも、よく、あまり、まったく……、月 1 回、週 2 回、毎日……)

jamais

toujours souvent

- ・場所の表現ができる

parfois, de temps

en temps

sois par

rarement

- ・「……で」「……に」は à (ただし、女性単数の国名のばあいには la を削除して en)

- ・「……から」は de (ただし、女性単数の国名のばあいには la を削除)

- ・「……の家」は chez、「……のなか」は dans、などなど

- ・en は in と同じ語源だが基本は使わない

- ・数字を 1 から 100 まで綴れる。聞き取れる。

- ・101 から 100 万までは聞き取ってアラビア数字で書き取ったり、アラビア数字をフランス語で発音したりできる

- ・条件法を用いて反実仮想文を作ることができる

- ・条件文のほうは半過去

- ・接続法がどのようなものかわかる

- ・接続法を用いた表現が出てきたら「あ、接続法だ」とわかり、それを綴ることができれば当面は充分